

伊方地域の緊急時対応（概要版） ②PAZにおける避難・屋内退避の考え方

区域	種別	対象者数	警戒事態	避難等の流れ		全面緊急事態	備考
PAZ (発電所から概ね5km圏内)	施設敷地緊急事態(原災法10条)で避難開始						
	避難行動要支援者(社会福祉施設)	伊方町 107人	施設敷地緊急事態避難準備を開始避難者の要避難者の	<div>対象施設 伊方町 (1施設:107人)</div> <div>＜避難可能な者:97人＞ バス3台、福祉車両11台 (職員同乗)により避難</div> <div>＜避難の実施により健康リスクが高まる者:10人＞</div> <div>社会福祉施設 (松前町内2施設)</div>			<ul style="list-style-type: none"><li>施設の避難計画において、避難先施設を設定。</li><li>避難の実施により健康リスクが高まる避難行動要支援者は、準備が整うまで自施設内で屋内退避を実施。</li></ul>
	避難行動要支援者(在宅)	伊方町 155人		<div>対象者 (155人)</div> <div>＜避難可能な者:152人＞ 支援者の自家用車等で移動(72人) 一時集結所(2箇所) 支援者と共に徒歩、バス等 (支援者同乗)により避難 で移動(80人)</div> <div>＜避難の実施により健康リスクが高まる者:3人＞</div> <div>避難経由所 (松前公園)</div> <div>放射線防護施設※1 (伊方町内3施設)</div> <div>又は 福祉避難所(松前町内9施設)</div> <div>広域避難所(松前町内13施設)</div>	<ul style="list-style-type: none"><li>伊方町が松前町の社会福祉施設等と受入を調整。</li><li>避難の実施により健康リスクが高まる避難行動要支援者は、近隣の放射線防護施設へ移動。</li></ul>		
	避難行動要支援者(学校・保育所)	伊方町 427人	<div>対象施設(7施設:427人)</div> <div>＜保護者へ引き渡しできなかった保育所の児童及び学校の児童等＞ バス20台 (教職員同乗)により避難</div> <div>避難経由所 (松前公園)</div> <div>広域避難所 (松前町内13施設)</div>	<ul style="list-style-type: none"><li>学校の児童等は、警戒事態になった場合、避難準備を開始。避難経由所(松前公園)に移動後、保護者に引き渡す。</li><li>保育所の児童は、警戒事態になった時点で保育を中止し、保護者へ引き渡す。保護者への引き渡しができなかった場合は、避難経由所で保護者に引き渡す。</li></ul>			
(全面緊急事態(原災法15条)で避難開始)			伊方町 4,429人	<div>対象者 (4,429人)</div> <div>＜自家用車で避難可能な者＞ 避難経由所 (松前公園)</div> <div>＜自家用車で避難できない者＞ 一時集結所(2箇所) 754人(バス17台)</div>			<ul style="list-style-type: none"><li>避難経由所に移動後、松前町が指示する広域避難所へ移動。</li><li>自家用車を利用可能な者は自家用車で移動。自家用車が利用できない者は、愛媛県内のPAZ・UPZ内市町のバス会社が保有するバス等で移動。</li></ul>
一般住民の避難準備を開始							
合 計		5,118人					

※2 一般住民の対象者数は、PAZ住民数の合計数から割り出した数であり、若干の増減がある。

区域	種別	対象者数	屋内退避／一時移転（1週間程度内に実施）の流れ			備考
			警戒 事態	施設敷地 緊急事態	全面緊急事態	
					OIL2となった場合	
UPZ (発電所から概ね5～30km圏内) (予防避難エリアを除く)	避難行動要 支援者(医療 機関)	愛媛県: 2,175人 山口県: 対象施設なし			<div>屋内退避 (26施設: 2,175人)</div> <div>一時移転の指示</div> <div>一時移転対象 病院</div> <div>避難先医療機関※1 (101施設) 受入可能人数: 2,904人</div> <div>※1 緊急被災者医療アセスメントや災害医療コーディネータの助言を受け、医療機関の受入候補先を選定するとともに、受入に関する調整を実施。</div>	愛媛県が緊急被災者医療アセスメントや災害医療コーディネータの助言を受け、医療機関の受入候補先を選定するとともに、受入に関する調整を実施。 (施設毎の避難計画は策定済み)
	避難行動要 支援者(社会 福祉施設)	愛媛県: 3,850人 山口県: 対象施設なし			<div>屋内退避 (121施設: 3,850人)</div> <div>一時移転の指示</div> <div>一時移転対象 福祉施設</div> <div>避難先福祉施設 (177施設) 受入可能人数: 3,943人</div> <div>※1 緊急被災者医療アセスメントや災害医療コーディネータの助言を受け、医療機関の受入候補先を選定するとともに、受入に関する調整を実施。</div>	施設毎の避難計画に基づき、あらかじめ選定している避難先施設へ避難、もしくは家族へ引き渡し。あらかじめ選定した避難先施設への避難もしくは家族への引き渡しができない場合は、愛媛県が受入先を調整。
	避難行動要 支援者(在 宅)	愛媛県: 5,136人 山口県: 対象者なし			<div>屋内退避 (5,136人)</div> <div>一時移転の指示</div> <div>一時移転 対象者</div> <div>避難先 施設</div> <div>福祉避難所等 (245施設) 介護ベッ等が必要 な要支援者</div> <div>※1 緊急被災者医療アセスメントや災害医療コーディネータの助言を受け、医療機関の受入候補先を選定するとともに、受入に関する調整を実施。</div>	関係市町が準備した避難先に一時移転を行う。 介護ベッ等が必要な要支援者は福祉避難所等へ移動。
	避難行動要 支援者(学 校・保育所)	愛媛県: 14,045人 山口県: 対象施設なし			<div>屋内退避 (137施設: 14,045人)</div> <div>一時移転の指示</div> <div>一時移転 対象学校等</div> <div>広域避難所等 ※避難先施設で保護者に引き渡し</div> <div>＜引き渡しできなかった児童等＞</div> <div>対象施設 (137施設)</div> <div>保護者 引き渡し</div> <div>※1 緊急被災者医療アセスメントや災害医療コーディネータの助言を受け、医療機関の受入候補先を選定するとともに、受入に関する調整を実施。</div>	施設敷地緊急事態になった時点で授業・保育を中止し、保護者への引き渡しを開始。 保護者へ引き渡しできなかった場合は、全面緊急事態で屋内退避を行い、その後指示に基づき一時移転先に移動し、保護者に引き渡す。
	一般住民※2	愛媛県: 87,080人 山口県: 24人 計87,104人			<div>屋内退避 (87,104人)</div> <div>一時移転の指示</div> <div>一時移転 対象者</div> <div>避難 経田所</div> <div>愛媛県 山口県</div> <div>広域 避難所</div> <div>島外 避難所</div> <div>※1 緊急被災者医療アセスメントや災害医療コーディネータの助言を受け、医療機関の受入候補先を選定するとともに、受入に関する調整を実施。</div>	避難計画で定めている避難先へ一時移転を実施。 愛媛県では、自家用車を利用可能な者は自家用車で移動。自家用車を利用できない者は、県が準備したバス等で移動。 山口県では対象地域が離島のため船舶による避難を実施。
合 計					112,310人	愛媛県が、域内のバス等会社から必要となる輸送手段を調達。不足する場合は、他県との応援協定や政府の支援の下、近隣県等から輸送手段を調達。

※2 一般住民の対象者数は、UPZ（予防避難エリアを除く）住民数の合計から割り出した数であり、若干の増減がある。

※3 UPZ内の全住民が一斉には一時移転を行わず、緊急時モニタリング結果に基づき、毎時20マイロシールトを超える区域が特定された場合は、特定された区域の住民の一時移転を実施。